

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	大学リレーマラソン実施事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)					
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	2	健康意識の高揚と保険予防活動の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 学生、市民及び市外からの参加者														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門教育大学と連携してリレーマラソンを開催し、参加者の健康増進と交流人口の増大を図る。														
事業計画	28年度に何を計画していたか	第2回鳴門リレーマラソンを開催する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	参加人数	500	500	500	500	500	人
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
参加人数	500	500	500	500	500	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	11月6日に第2回鳴門リレーマラソンを開催し、63チーム707名が参加した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	参加人数	611	707	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)		141.4	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	500	500
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	500	500
		決算額	0	0	0	0	209	209
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.1	0.0	713		922		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：大学リレーマラソン実施事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	342	209	500	500	500
	うち一般財源	342	209	500	500	500
	人件費	686	713	713	713	713
	総事業費	1,028	922	1,213	1,213	1,213

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		多数の参加があり、盛況であった。
	効率性	A:効率的だった		実行委員会形式で実施し、効率化を図っている。
②成果に対する評価	指標名	参加人数		目標を上回る参加人数となっている。
	目標	500	人	
	実績	707	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		事業内容に改善の余地はあるが、事業の成果は達成している。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コース上の看板設置等について参加者からの意見をもとにさらなる改善を図る。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	継続実施			
	H30年度	継続実施			